

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【公表番号】特表2017-501689(P2017-501689A)

【公表日】平成29年1月19日(2017.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2017-003

【出願番号】特願2016-534708(P2016-534708)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

C 07 K 16/18 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 A

C 07 K 16/18

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月22日(2017.11.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生物学的流体からマイクロRNA(miRNA)を単離するための方法であつて、(a)前記生物学的流体を界面活性剤及び抗miRNA結合タンパク質試薬と接触させ、ここに、前記界面活性剤は、生物学的流体の成分を分離し、前記抗miRNA結合タンパク質試薬は、前記miRNAと会合するmiRNA結合タンパク質と相互作用して免疫沈降したmiRNA複合体を形成し；及び(b)前記免疫沈降したmiRNA複合体とプロテアーゼを接触させて、精製することなく、前記免疫沈降したmiRNA複合体からmiRNAを放出させることを含む、方法。

【請求項2】

前記生物学的流体が、小胞性miRNA及び非小胞性miRNAを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記生物学的流体が、血漿または血清である、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

前記界面活性剤が、非イオン性界面活性剤である、請求項1～3のいずれか1項に記載の方法。

【請求項5】

前記生物学的流体を、前記界面活性剤及び前記抗miRNA結合タンパク質試薬と同時に接触させる、請求項1～4のいずれか1項に記載の方法。

【請求項6】

前記生物学的流体、前記界面活性剤、及び前記抗miRNA結合タンパク質試薬が、約30分間インキュベートされる、請求項1～5のいずれか1項に記載の方法。

【請求項7】

前記生物学的流体、前記界面活性剤、及び前記抗miRNA結合タンパク質試薬が、室温でインキュベートされる、請求項1～6のいずれか1項に記載の方法。

【請求項8】

前記抗miRNA結合タンパク質試薬は、固体支持体に結合した抗Argonaute抗

体を含む、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 9】

前記固体支持体が磁気ビーズである、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記プロテアーゼがプロテアーゼ K である、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 11】

前記プロテアーゼとの接触が約 10 分間行われる、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 12】

前記プロテアーゼとの接触が室温で行われる、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 13】

前記免疫沈降した m i R N A 複合体から放出された前記 m R N A が、他のタイプの R N A を含まない、請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 14】

生物学的流体からマイクロ R N A を単離するためのキットであって、界面活性剤、及び抗 m i R N A 結合タンパク質試薬を含む、キット。

【請求項 15】

前記界面活性剤が、非イオン性界面活性剤である、請求項 1 4 に記載のキット。

【請求項 16】

更に、プロテアーゼ K を含む、請求項 1 4 または 1 5 に記載のキット。

【請求項 17】

前記抗 m i R N A 結合タンパク質試薬が、固体支持体に結合した抗 Argonaute 抗体を含む、請求項 1 4 ~ 1 6 のいずれか 1 項に記載のキット。

【請求項 18】

前記固体支持体が磁気ビーズである、請求項 1 7 に記載のキット。